# 探究的な見方・考え方を働かせる学習指導の在り方 ~学年間の「調査→体験→比較・検討」のつながりを通して~

日立市立助川中学校

### 1 はじめに

本校では、教育目標を「丈夫な体とたくましい心を育てる《つよく》」、「自ら進んで創造する態度を養う《ただしく》」、「豊かな心情を培う《ゆたかに》」とし、「体を鍛え、活力に満ちた生徒」、「学びの意味を理解し課題にしっかり向き合う生徒」、「自律と自制の心を備えた生徒」を目指す生徒像として、日々の教育活動に取り組んでいる。

学習指導要領では、「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成すること」を目標としている。自らの生き方を考えていくためには、探究的な学習を意図的に行うことで、学び方や考え方、課題発見、情報の収集や整理・分析の仕方を身に付けていくことが効果的であると考える。この探究的な学習を、3年間を通して計画的に行っていくことをテーマとし、各学年で授業実践をしている。

## 2 資料 (実践事例, 写真等)

(1) 学年間の「調査→体験→比較・検討」のつながりについて

自らの生き方を考えていくために、学んだことを自己と結びつけていくことが必要である。3年間の探究的な学習につながりをもたせ、学ぶ対象を身近な地域から日本、世界と考えていく中で、自己と関連のある事柄についての課題を発見し、社会の一員としての自己に目を向けられるように、各学年で学習内容を設定した。

- (2) 各学年のテーマと学習内容について
  - ① 1学年「再発見!わが街日立」(調査)

課題設定のために、日立市と聞いてイメージするワードを出し、それに関することをウェとで、マップ(資料 I )を用いて数多く挙げることで、わが街を多面的・多角的見られるようにした。マップを参考に、日立市について、各自テーで制造といったのでは、インターネットで引いたり、日立市観光協会の講演を聞いた。冊子(資料 II )にまとめた。冊子(資料 II )にまとめた。冊子で見り、して、できるには、レイアウトで記載することで、見通との後、各クラスで発表会を行った。また、次年度へのつながりとして、職業適性検査を実施した。

② 2学年「生き方を見つめる」(調査・体験)







前年度に実施した職業適性検査をもとに、職業についての学習を行った。パナソニックの私の行き方発見プログラムを活用し、会社でのそれぞれの役割や働くために必要な能力について学んだ。職場体験学習は実施できなかったが、エントリーシートの記入や電話のかけ方等の疑似体験を行った。また、職業人に学ぶ会で地域の方から働くことの意義や仕事の内容等を教えてもらい、校内でできる職

業体験をさせてもらうことで、職業についての知識を深めた。各自が調べる職業を決定し、仕事の内容やその職種に就くために必要なことや資格等について調べ学習を行い、職業新聞(資料Ⅳ)にまとめ、発表会を実施した。また、立志式を行うことで、職業学習と自らの生き方を結びつけ、将来について考えることができるようにした。



# ③ 3学年「自分らしい生き方を」(比較・検討)

自分らしい生き方を探究する視点として、SDGs について学び、自分にできる実現性の高い方法を考えた持続可能また、未来の世代を考えた持続可能な日立のまちづくりを地理・歴らのととを各自がレポートにまとめた。(資料V)レポートでは、現在の日立市の対策や取り組みを調べ評価し、付金の自治体と比較・検討したり、考えられる反論への自分なりの答えを

構成	やること	具体的な例・書き方			このような若、せ代が興味を得っようなゲーム
F-1	資料「	10日主市日報等地の1一下、特日被客外 1、下のは日立製作所で実際の原子様 弾が奏のまれた現場やあ時の様子が外で	<b>本編</b> ③	○ 本編①や②で述べ たことに対する収論への 等えを自分で予想し、自 分の考えを書く。	サマ: 〒 7-1 ハ 1-4 10 日 秋明 市と 日秋明 下 3 日
		- ろ、の、ので、根本地の1つのでて戦争の思传されると継承していてからからる 現在、日上市下は、三十日土中行を展の開催に 年初の経、建設を行い、、戦争の従来を行、			でもんやデームなどの異体もしてもらうこと(解 環できると考える。
本論①	○ 選択したアーマについて、日立市でどかった対策や取り組みが行われているが述べる。 また、対策や取り組みが行うが近いなると、対策や取り組みに対策を取り組みに対策を取り組みに対する評価をする。	1-6、よに、実際、当時、分野、分野、後ま詳ま接 会と設け、名、なかの取り組みは、私達主か 等級、時、始終として、分別ので、記案所の 小板等満所見たり、当時の状況ので、医学具 などで等い機械が高点にいまかに等数を必 まして、表を、これる、現立、取 が選出てまく命で、これで、不 方、現立、取 り、類がよと特によってといる。実施しているのとない まり、また、これで、そので、そので、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これ	sen.	<ul><li>→ 選択したアーマに対する。自分の方式を所定、関連に高く。</li><li>→ 全般の展望を書く。</li></ul>	の以上が3のの出作って加め 開放のの以 若、それの研究を持ってもように 所し かっかっかりに当まして戦争の遺传でき 競減を変異は非常の高額であるから。 このように 他の 投資 行き 行っ、るけれの なねなった 取り向けと取りまからにて、日 立市は すかるのこ、前でもの考えが交通 力を見かっかいた日本かっによっな 他の自命体の優か政策と加入れていてくない。
木輪②	○ 選択したテーマにつ いて、他の独力自治体の 優れた取り組みの例を上 げて、日立市にもこのようと 変更かると、述べる。	のはは日本十番のかなお泉には、原接さん ま刻目に本中の社会(ロファの場動はもろ 人、30Grをゲームとして単ってしたでできる。 して大き実施している。このような姿差。しく間 は本門ではもようよっながは実施する。 よれまの世代入の継承、コンフ、非常。を かせまたでもなっない。	参考文献	○ レポートを書く際に 参考にた、本・サイルな どについて、記載する。	相名は下る。 city,fittada, lg jp/slova/ols/ost/politiv.lita pref. himshima. lg jp/sodeli/e32/index-2.shol

出したりすることで、社会の一員として考えられるようにした。

### 3 成果と課題

1学年では、自ら調べる内容を決定し、調べ学習をして冊子にまとめることで、情報の収集の仕方やまとめに必要な情報の選定、相手に伝わりやすい表現、まとめの仕方について考えることができた。2学年では、職業を主な学習内容とし、調べるだけではなく体験をすることでより自分の生き方と結びつけて考えることができた。3学年では、課題発見・課題解決力が身に付き、適切な資料や情報の活用や自分のアイデアを生かしながら進んで探究することができた。

今後は、これらの学習で身に付けた知識や考え方を、より実生活に結びつけていけるようにしたい。また、地域の方々の協力のもと、協働的な学習のなかで互いの異なる意見を生かして、新たな見方や課題を見いだし解決していけるよう支援していきたい。